

歴史・文学・芸術

①土肥一族菩提寺(城願寺)

石橋山の合戦に敗れた源頼朝を、大庭景親の重勢から守った土肥次郎実平。城願寺はその実平の菩提寺です。境内には「頼朝七騎」の木彫り像を安置する七騎堂や、土肥一族の墓所(神奈川県文化財指定)があります。また、天然記念物のジャクシン(推定樹齢800年)のみごとな姿は全国的にも稀だといわれています。※駅前ロータリーの銅像が土肥次郎実平と妻です。

②不動滝と夏目漱石の「明暗」

文豪夏目漱石の最後の小説「明暗」(大正5年5月~12月朝日新聞に188回連載の未完成)の170回から湯河原が舞台となった。この話の中に不動滝を散歩する話が出てきます。漱石自身も温泉旅館天野屋に逗留し、療養や執筆活動を続けました。

③町立湯河原美術館

平松礼二館——〈日本画の革新〉平松画伯の作品を常時20点ほど展示。常設館——竹内栖鳳、安井曾太郎をはじめとした当館の収蔵品を展示。開館時間：午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで) 休館日：水曜日(休日の場合は翌日) 年末(12月28日~31日) 臨時休館あり

観覧料	一般の方	団体(15名以上)及び割引券をお持ちの方
大人	600円	500円
小・中学生	300円	200円

交通案内
湯河原駅よりタクシーで約8分
バスで約12分
(不動滝・奥湯河原方面行バス停「美術館前」下車)
TEL.0465(63)7788

④観光会館内郷土資料展示室万葉館

国木田独歩、夏目漱石、芥川龍之介、与謝野晶子、島崎藤村、谷崎潤一郎など明治時代より湯河原を訪れた様々な文士作家の作品や紹介パネルが展示されています。その他にも、湯河原文学散歩地図、湯河原近代文学史要、湯河原今昔写真パネル、神社・仏閣・石仏写真パネルなどが展示されています。

⑤万葉公園「文学の小径」

緑につつまれた情緒豊かな万葉公園。せせらぎ治いの「文学の小径」は湯河原を愛した文人たちと、その作品を紹介した歌碑が木々の間に並び、文学の香り漂う散歩路です。「文学の小径」以外にも園内には湯河原温泉を詠んだ万葉集の歌碑や、湯河原とゆかりが深く足湯施設の愛称にもなった国木田独歩の碑などがあり、古きよき時代の文化にふれることができる空間です。

湯河原町コミュニティバス
湯河原駅から真鶴駅を約20分で結ぶバス路線です。湯河原を散策する際の足として是非ご利用ください。

順路 湯河原駅→城堀→広崎公園前→ヤオハン前→幕山公園通り→新崎橋→吉浜小学校前→花水→ゆうゆうの里前→白沼田→前栗場→(ゆめ公園系由便もあり)→天保山→庵寺前→川堀→福浦入口→真鶴駅

ぶらり周遊ドライブコース

- 真鶴・三ツ石へ 8.7km 28分
- 箱根・芦ノ湖(箱根開所)へ 14km 28分(湯河原パークウェイ・TOYO TIRESターミナル経由)
- 小田原・小田原城へ 19.2km 40分(真鶴ブルーライン経由)
- 熱海・お宮の松へ 10.4km 23分(熱海ビーチライン経由)

※時間については、目安となっております。※湯河原観光会館を基準点にしてあります。



四季彩のまち

ゆが散策マップ

